

みんなで考えよう 将来の「土地利用」のあり方 川路地区 土地利用計画策定 地区懇談会だより ～ 創刊号 ～

ホームページアドレス「<http://www.city.iida.nagano.jp/kikaku/tochikeikaku/>」

第1回 地区懇談会が行われました

日時 平成17年7月7日(木) 19:00～21:15

場所 川路公民館(2階講義室)

参加 検討委員17名、コーディネーター他

当日は、飯田市の地域づくりにかかわっていただいている井上先生(株井上景観研究所)をコーディネーターに、川路地区から選出された検討委員の皆さんが3つのグループに分かれ、川路地区の現状・将来について話し合いました(各グループから出た主な意見は3～4ページのとおり)。今後もグループ討論などに取り組みながら、地区の皆さんと検討を進めていきます。

飯田市の土地利用計画については、次ページをご覧ください。



市から土地利用計画の進め方等を説明しました



話し合った内容を1班から発表しました



引き続き、2班が発表しました



最後に3班が発表し、各班の意見をお聴きしました

「土地利用計画」とは

「将来にわたって住みやすく生き生きとしたまちづくりのために」地域づくりの基盤となる土地利用のあり方を示した計画です。

どうして「土地利用計画」をつくるのか

飯田市は、雄大な自然と暮らしやすい気候に恵まれ、それぞれの地域ごとに特色を生かした豊かな暮らしが築かれてきました。

しかし、近年 経済成長や車社会・交通網の発達に伴い、郊外への住宅地・商業地の無秩序的な拡大(それに伴う、道路や下水道施設の投資及び維持管理費の増大)、昔ながらの景観や自然の喪失、中心部や農山村地域における人口減少・高齢化などにより活力の低下を招くとともに、農地の保全や農業の維持が困難となってきています。

このような状況の中、すばらしい景観や自然を守り、住みやすく生き生きとしたまちを実現し次世代に引継ぐためには、計画的な地域づくりが必要であると考えられます。また、持続可能な地域経営のために従来の土地利用のあり方を見直して、計画的な土地利用を行う必要があると考えられます。

飯田市が行う「土地利用計画」とは

飯田市では、平成18年度にかけて、市や地域の土地利用計画を市民の皆さんと協働して作り上げていくこととなりました。

具体的には、土地利用の全体方針（国土利用計画）を始めとして、目指す都市像（都市計画マスタープラン）、農業施策と農地利用（農業振興地域整備計画）、景観づくりの方針・ルール（景観計画）などを**総合的・体系的に策定**することとし、併せて地域の皆さんの意見や個別の開発計画等を調整する仕組みづくりを進めていきたいと考えています。

今回の土地利用計画の実現は、行政だけでは出来ません。計画づくりやその運用に多様な市民の皆さんの参画を頂きながら行いたいと考えています。今回開催した地区懇談会もその一つです。



「土地利用計画策定 地区懇談会」とは

<役割>

- 飯田市全体に関する土地利用の課題の共有化、基本の方針（骨格）についての意見の反映
- 川路地区における土地利用の現状把握、将来の土地利用の方向性の検討とまとめ
- 土地利用計画運用等の仕組みづくりの検討

<検討委員>

地区（連合）自治会等から推薦された、28名で構成されたメンバーです

<今年度の開催予定>

今年度、上半期は各地区で2回開催し現状把握・将来像について話し合い、下半期は3回程度開催し、地区の土地利用方針について話し合う予定です

第1回 川路地区懇談会で出た主な意見

川路地区の現状は？

< 生活（居住、買物、交通など） >

よいところ・宝

- 地区内の中心を国道が横断していることやJR通っていて便利だ
- 駅が2ヶ所あり、交通が良い
- 市民バスが通っていて良い
- 天竜峡IC開通により、中央道へ容易にアクセスできるようになる
- 他地域より道路が整備されている

課題

- 若い世代が他地区に居住し、子供が少ない
- （定住促進に熱心な）隣村に人を取られている
- 子供が少ない 少子化の問題
- 急激な高齢化が進んでいる
- 2つあるJR駅の利活用
- 川路は狭いが道路も多すぎる。また、川も多い
- 生活道路が狭い
- 家が山際の環境の良くない場所に建っている（水害回避のため）
- 狭い地域に家が密集している
- 買い物の場が少ない（量販店等）
- 高齢者が行ける身近な商店がない
- 川路にしては土地の価格が高い

< 農業 >

よいところ・宝

- 温暖で他地区より早く作物が育つ
- 多種の作物の生産ができる
- 野菜などを作るには自然環境の良い所
- 安心、安全、新鮮な野菜の供給
- 竹の子が多い
- 農業を一緒に懸命やっている人が増えてきている

課題

- 温暖故、病虫害が多い
- 農業経営の衰退
- 専業農家が減少している
- 遊休荒廃農地が増えている
- ニタ井 荒廃地が多く、雑草が茂っている
- 良い農地が完成したが、後継者不足
- 農業経営として中心となる作物が定まっていない
- 一般的な農業をするには、土地面積が少ない
- 市・JA等農業関係機関団体の連携が弱い

< 公共・福祉サービス >

よいところ・宝

- 老人ホームやデイサービスセンターがある
- NPO法人の宅老所がある

課題

- 支所と公民館の駐車場が狭い
- 川路駅周りの土地利用

< 商業・工業 >

課題

- 観光客の減少が著しく、経営が成り立たない
天竜峡（観光業）
- 天竜峡の商店街の活気がない
- コンビニや商店街がない
- 地元の商店が小さく少ない
- 工業・商業がない
- 若者が働ける場がない

< 自然環境・歴史・文化 >

よいところ・宝

- 「かわらんべ」など、子供から大人まで学べる場所がある
- 祭りが地区毎にあり良い
- 祇園祭などがあり、区毎にまとまりがあり伝統文化がある
- 雪が少なく温暖な気候である。また景色が素晴らしい
- 古い歴史、農家、家がある
- 山なみ景色が良い
- 弟川にホタルがいる
- 入って遊べる川が多い
- 良い清水が出た場所がある

課題

- 川がコンクリート三面張りのため、昔ほどホタルが多くない
- 天竜川の河川敷の有効的な活用方法
- 山林・竹藪にほとんど手が入らず、荒れている
- 看板が多く視界を妨げる

< 拠点・観光・その他 >

よいところ・宝

- 治水対策事業で生まれた広大な土地がある
- 川をもっと利用できたら。川の駅ができてアプローチが良くなった
- 城山の利用。展望が素晴らしい
- 天竜峡は知名度がある！
- 天竜峡の景観は素晴らしい

課題

- 天竜峡という景観がありながら、観光客が少ない現状
- 天竜峡は渓谷がすがすがしいが、見せ方は今のままでよい
- 舟下りが時又で寸断されてしまっている
- 久米川に橋がないため、上流・下流の一体感がない（桜並木）

将来の川路地区は（次のページへ）

将来は

こうなってほしい、こうなってほしくない

< 生活（居住、買物、交通など） >

- 若者の住める居住環境
- 子供の集まる大きな遊び場の確保
- 自転車を使うのに車道が狭いので、自転車道や歩道があると良い
- 支所周辺に昼食が食べられるところがあると良い
- 量販店が欲しい
- 人口を増やしたい
- 天竜峡 I.C を活用して交流を活発にしたい
- 2つある JR 駅の利活用
小学校がなくなってほしくない

< 公共・福祉サービス >

- 公民館をもっと多くの人が集まれる場所に
- 寄り付きのよいところへ、駐車場の広い公共施設の集積化
- 県文化会館やセンター等公共施設を
- 保育園を利便性のいい所に移転してほしい
- 保育園について延長保育と未満児保育をしてほしい
- 県道上川路大畑線の早期着工
- 医療施設を充実してほしい

< 商業・工業 >

- 地元で稼いだお金が外に流れず、地域内に循環するように
- 天竜峡 I.C を生かした産業振興を
- 地元の生産物と関連する工場誘致
- 地元農産物を使ってくれる企業が来て欲しい
- 川路駅周辺の商業化
- インター周辺、川路駅の開発
- ショッピングセンター（28mの道路へ道の駅）
- 広域的な核となる企業立地
- 三穂、川路境の開発（農地、住宅）
- 天竜峡活性化の構想

< 農業 >

- 川路の特産づくり
- 農産物の川路ブランド品を生み出す
- 温暖な気候を利用した特産品開発
- 従来型でない新たな展開を
- 1戸月50万円以上売上げる農業の推進。少量多品種
- 女性起業による地域経営型グリーンツーリズムをしていく。
民泊、レストラン
- 人口増対策として農地の宅地化を

< 自然環境・歴史・文化 >

- いつでもきれいな山なみが見えると良い
- ホテルの住める川（弟川）に戻って欲しい

< 拠点・観光・その他 >

- 温泉施設や足湯が欲しい
- 観光ボランティアが活発になって欲しい
- 観光地としての天竜峡が活性化して欲しい
- 名勝天竜峡に大型バスが通行できるような道路と駐車場の確保
- 舟下りの着港・出発地点として川の駅を活用
- インター周辺に物流の拠点
- 桜並木、かわらんべ、天竜峡との一体整備
- 風力を使った先進地に
- 天竜川を活用した水力発電（ダム方式でない方式）ができないか
- 堤外地に常設の運動場を建設する（ラグビー場など）
城山を墓地公園にして欲しくない

< 少し広域でみてみよう・隣接地区との関係・市全体の中では >

- 信州の玄関として I.C 付近を充実させたい
- 飯田市における川路の役割を明確に

次回、第2回懇談会は次のとおり開催します。

日時 平成17年8月28日（日）午後1時30分から5時30分

場所 川路公民館

内容 地区内のタウンウォッチングを行い、第1回懇談会で出されたよいところ・課題・将来等を地図上に整理し、地区の現状・将来について話し合います

川路地区内の方で参加を希望される方は、下記まで事前にご連絡下さい

今後、懇談会の様子などを「地区懇談会だより」として、地区の皆様にお届けします
ご意見、ご感想等がございましたら、下記までご連絡ください

飯田市役所

〒395-8501

飯田市大久保町2534

22-4511 Fax 53-4511

E-mail: nougyou@city.iida.nagano.jp

農業委員会事務局・管理計画課・農業課・企画課

連絡先

農業委員会事務局 担当：下島 内線4813

土地利用計画に関することや、地区懇談会だよりは、飯田市ホームページでもご覧になれます
ホームページアドレス「<http://www.city.iida.nagano.jp/kikaku/tochikeikaku/>」